

横浜市こどもの美術展2023 毎年恒例、子どもたちのための展覧会! 今年のテーマは「夏」

子どもたちのための展覧会「横浜市こどもの美術展」を今年も開催します。本展は1965年から始まった歴史ある展覧会です。子どもたちの自由な発想と豊かな表現を育み、健やかな成長を応援するため半世紀以上にわたり継続し、今年で55回目の開催となります。今年のテーマは「夏」。「自由テーマ」部門とあわせて子どもたちの絵画作品を大募集します! 「横浜市こどもの美術展」では、賞は設けず、すべての応募作品が展示されます。会場には、一生懸命に描かれた子どもたちの作品がずらりと並びます。ぜひ作品を出品して、大きな会場に展示されたところをみんなで見てくださいます。会期中には横浜市民ギャラリーのコレクション展や、参加型の「みんなで作るコーナー」も楽しめます。夏休みは子どもも大人も一緒にアートを楽しみましょう!



横浜市こどもの美術展2023
2023年7月21日(金)~7月30日(日)会期中無休 10:00~17:00(入場は16:30まで)
横浜市民ギャラリー 入場無料
主催:横浜市民ギャラリー(公益財団法人横浜市芸術文化振興財団/西田装美株式会社 共同事業体)
※新型コロナウイルス感染拡大状況により内容が変更となる場合があります。

横浜市こどもの美術展2023 ボランティア募集!
展覧会に来場した子どもたちの活動をサポートしてくださる方を募集します。
内容:展覧会会場内での①「みんなで作るコーナー」のサポート ②「こどものためのコレクション展」の鑑賞サポート(作品を見ながら来場者とお話するなど)。※①②両方の活動を行っていただきます。
活動日時:7月21日(金)~30日(日)10:00~17:00 時間内で交代制
説明会:7月2日(日)13:30~16:00 横浜市民ギャラリー4階アトリエ ※参加必須
応募資格:中学生以上。こどもの美術展に関心のある方。原則として7/2の説明会に参加でき、活動日のうち2日以上活動できる方。
※18歳以下の方は保護者の同意が必要。
募集人数:30名程度(応募多数の場合は抽選)
条件:無償。活動に際しては横浜市市民活動保険を適用します。
応募期間:6月7日(水) 必着
応募方法:往復はがき、ホームページの申込みフォーム、直接来館のいずれか。詳細はチラシがホームページをご覧ください。



【作品募集概要】
応募資格:横浜市在住・在学の小学生以下の児童・幼児(0~12歳)
募集作品:絵画(技法は自由)1人1点。テーマ「夏」または自由テーマ。四つ切サイズ画用紙(38×54cm)。これより小さい場合は四つ切の台紙に貼って提出。縦横自由。
応募方法:受付期間に横浜市民ギャラリー4階アトリエまでお持込みください(郵送不可)。
出品無料。応募には「作品カード」「出品申込用紙」が必要です。応募前には必ずチラシがホームページで募集要項をご確認ください。
受付期間:7月6日(木)~8日(土)10:30~16:00
作品返却:返却期間に横浜市民ギャラリーでお返しするか、ゆうパック(着払い)でお送りします。
返却期間:8月3日(木)~6日(日)10:30~17:30

関連イベント すべて参加無料
こどものためのコレクション展「いろいろ」
横浜市民ギャラリーの所蔵作品による、子どもと大人が一緒にたのしみ小さな展覧会。お話ししながら美術作品をゆっくり見よう!
会期中毎日 10:00~17:00

みんなで作るコーナー「どんどころがらあおいろのかべ」
夏といえば空や海の青色!みんなが選んだいろいろな青色で展示室の壁を彩る参加型コーナーです。子どもも大人も参加できます。
会期中毎日 10:15~16:45
申込不要

プレワークショップ「すてきなあおいろの紙をつくらう」
空や海をイメージして、絵具でオリジナルの青色の紙をつくらう!完成した紙は「みんなで作るコーナー どんどころがらあおいろのかべ」の素材として使用します。
6月25日(日)13:30~15:00
対象:小学1~6年生 12名(抽選)
事前申込制(詳細はホームページをご覧ください)

「クラウドファンディングによる横浜市民ギャラリー収蔵作品修復プロジェクト」ご報告

横浜市民ギャラリーでは2022年5~6月、「クラウドファンディングによる横浜市民ギャラリー収蔵作品修復プロジェクト」を実施しました。当館が所蔵するおよそ1,300点の作品のうち2点の修復が対象です。クラウドファンディングによる資金獲得は、当施設を運営する公益財団法人横浜市芸術文化振興財団としても初の試みでした。おかげ様でプロジェクト実施中、様々な方より目標金額140万円を超えるご支援をいただく結果となり、いずれの作品も充分な修復をおこなうことができました。改めて、皆さまのご理解、ご協力に心より御礼申し上げます。修復した作品は「横浜市民ギャラリーコレクション展2023 描きたい風景」会場にて展示・お披露目しました。当館では今後も市民の貴重な財産であり、1960~90年代を中心に横浜の美術シーンを反映したコレクションの保存・活用につとめてまいります。
※ホームページでレポートや作品修復動画を公開しています。https://ycag.yafjp.org/events/r4cf/

【概要】	【収支報告】
実施期間:2022年5月9日~6月30日	〈収入〉
実施方法:クラウドファンディングサービスREADYFOR	READYFOR 153万5千円
ウェブサイトおよび公益財団法人横浜市芸術文化振興財団への直接寄付	直接寄付 17万5千円
目標金額:140万円	〈支出〉
寄附金額:171万円(75件)	作品修復費 92万2千円
修復対象作品:三橋兄弟治「教会の見える風景」1939年	作品輸送費 27万5千円
柴田善登「山下公園の五月」1969年	広告宣伝費 18万4千円
修復実施期間:2022年7~12月	ギフト報告書作成費用 3万4千円
	システム利用料 28万7千円
	雑費 3千円
	消耗品費、その他 5千円



ハマキッズ・アートクラブ

子どものためのアトリエ講座「ハマキッズ・アートクラブ」では、小学生以下の幼児・児童を対象に、造形を中心とする講座を年に10回開催しています。子どもたちに「自分で考える」「自分でできる」「自分である」ことの楽しさや醍醐味を体験してもらい、アートを通じて大人になるために必要な自立心を育むことを目的とする講座です。

油絵に挑戦!
モチーフをよく観察して、小さなキャンバスに油絵を描いてみよう。
8月26日(土)13:30~16:00
講師:東麻奈美(油彩画家)
対象・定員:小学4~6年生 18名(抽選)
参加費:2,200円(材料費込)
受付期間:8月9日(水)まで



スーパーカーをつくらう
木でできた動く台車にいろいろな形をくっつけて、どんなスーパーカーができるかな?
10月15日(日)10:30~12:00
講師:宇田川純子(アーティスト)
対象・定員:年少~年長児と保護者 12組(抽選)
参加費:一組1,500円(材料費込)
受付期間:7月下旬~9月27日(水)まで



大人のためのアトリエ講座

横浜市民ギャラリーでは、学生からシニア世代まで、幅広い年齢層の方々が、経験を問わずに創作活動やレクチャーを楽しむことができる「大人のためのアトリエ講座」を開講しています。ギャラリーフロア最上階にあるアトリエにて、身近にアートを感じながら、さまざまなクリエイティブ体験が楽しめます。2022年度後期は6講座を実施しました。
※2023年度後期の講座は、秋頃にチラシがホームページでお知らせします。

- 和の装いを描く
2022年11/17,24,12/1,8:19名
講師:清野晃代(画家)
- はじめての日本画 絹に描く
2022年12/3,10:17名
講師:武田裕子(日本画家)
[向井大祐(日本画家)]
- 着衣クッキーコース
2023年1/19,26,2/9:21名
- 横浜市民ギャラリー+横浜能楽堂 連携企画
①「着物をほどこ」と横浜能楽堂見学
2022年11/15,27:28名
講師:伊東純子(アーティスト)
- ②「袱紗を縫う」と横浜能楽堂見学
2022年12/15,17:28名
講師:伊東純子(アーティスト)
- レクチャー 美術品の保存と修復
-大切な絵画作品を後世に残すための取り組み-
2023年1/15:34名 講師:上野淑美(修復士)



「ハマキッズ・アートクラブ」「大人のためのアトリエ講座」の詳細・申込方法等は、ホームページまたはチラシをご覧ください。

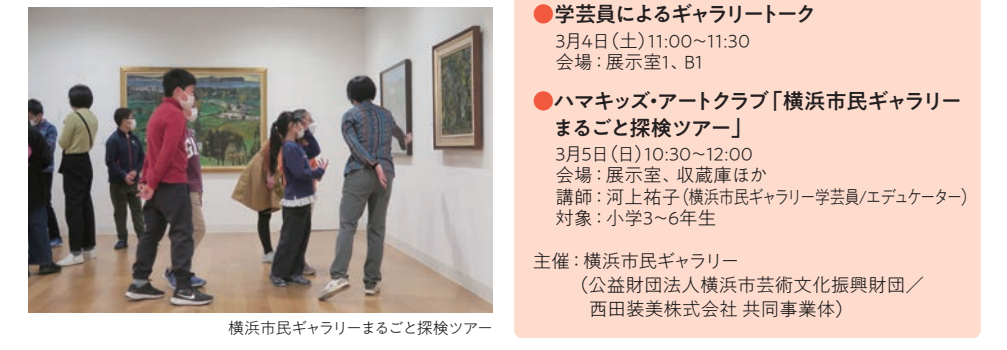
横浜市民ギャラリーコレクション展2023 描きたい風景

横浜市民ギャラリーの約1,300点の所蔵作品から、年に一度テーマを定めてご紹介するコレクション展。今年は「描きたい風景」と題し、実際の風景をもとに描かれた絵画や版画を展示しました。「1.描きたい「横浜」―山下・山手エリア」「2.スケッチで描く街」「3.旅人のまなざし」の3つの章では、横浜らしさあふれる街の風景や、アーティストが外国で出会った風景などを選びすぐてご紹介。見慣れた風景を改めて見つめ直したり、懐かしさに思いを馳せたりしながら、アーティストの表現を堪能された方が多かつたようです。「特集展示 宮本昌雄―横浜を描いた画家」では、横浜出身の日本画家・宮本昌雄による「工場」シリーズなど迫力のある大作が並び、多くの反響が寄せられました。そのほか会場では、クラウドファンディングにより修復を行った作品2点のお披露目展示や、修復の詳細をまとめた映像、出品作家の相笠昌義インタビュー映像を上映するなどしました。

ボランティアの鑑賞サポーターの活動では、それぞれの視点で親しみやすく作品を読み解いた「鑑賞サポーターによる作品紹介シート」を配布したほか、来場者と鑑賞サポーターが作品を見ながら自由に会話を楽しむイベント「おしゃべりステーション@コレクション展」を初開催。他者との会話を通じて互いに作品鑑賞を深める新しい試みとなりました。また「学芸員によるギャラリートーク」、小学生と展覧会や館内を巡る「横浜市民ギャラリーまるごと探検ツアー」など多彩なイベントを催し、子どもから大人まで広くお楽しみいただき、盛況のうちに閉幕しました。



【展覧会データ】
横浜市民ギャラリーコレクション展2023 描きたい風景
2023年2月24日(金)~3月12日(日) 会期中無休
10:00~18:00 横浜市民ギャラリー 展示室1、B1
出品点数:53点
展覧会入場者数:4,722名+関連事業参加者数120名
=合計4,842名
【関連イベント】
●おしゃべりステーション@コレクション展
2月26日(日)、3月4日(土)各日13:30~15:30
会場:1階展示室前スペース、展示室1、B1
●学芸員によるギャラリートーク
3月4日(土)11:00~11:30
会場:展示室1、B1
●ハマキッズ・アートクラブ「横浜市民ギャラリーまるごと探検ツアー」
3月5日(日)10:30~12:00
会場:展示室、収蔵庫ほか
講師:河上祐子(横浜市民ギャラリー学芸員/エデュケーター)
対象:小学3~6年生
主催:横浜市民ギャラリー(公益財団法人横浜市芸術文化振興財団/西田装美株式会社 共同事業体)



ご利用ください 無料送迎サービス
JR桜木町駅⇄横浜市民ギャラリーを巡回
お身体の不自由な方・高齢者の方に配慮した送迎サービスです(健常者の方もご利用いただけます)。送迎車の定員:9名(車いす1台を含む)
桜木町駅東口タクシー降車場着付付近に停車します。
※新型コロナウイルスの感染拡大状況等により定員減、運休場合があります。必ず運行状況を事前に確認の上、ご利用ください。

【送迎車時刻表】
JR桜木町駅発 横浜市民ギャラリー発

9	45	10	10	30	50		
10	00	20	40	11	10	30	50
11	00	20	40	12	10	30	50
12	00	20	40	13	10	30	50
13	00	20	40	14	10	30	50
14	00	20	40	15	10	30	50
15	00	20	40	16	10	30	50
16	00	20	40	17	10	30	45
17	00	20		18	00		

※運行時刻は9時45分桜木町駅発、18時00分横浜市民ギャラリー最終発です。ただし展覧会初日と最終日や展示室の利用時間によっては、始発・最終発の時刻が変更となったり、運休する場合がありますので必ず事前にホームページが電話等でご確認ください。※原則第3月曜日、年末年始は休館日のため運行がありません。また、展覧会のない日も全便運休です。※交通事情、天候、施設状況等により運行が変更になる場合があります。



横浜市民ギャラリー
〒220-0031横浜市西区宮崎町26-1
TEL 045-315-2828 FAX 045-315-3033 https://ycag.yafjp.org/
10:00~18:00 原則毎月第3月曜日、年末年始休館
f https://facebook.com/ycag1964 @ycag1964

- 電車でのアクセス**
JR・市営地下鉄「桜木町駅」から徒歩10分 ※紅葉橋交差点を過ぎて左斜め①の道を進みます。京急「日ノ出町駅」から徒歩8分 ※野毛交差点を戸部方面に右側歩道を進み②の坂道を上がります。
- バスでのアクセス**
市営バス103・292系統「戸部1丁目」「野毛坂」から徒歩2~4分/市営バス89系統「野毛坂」から徒歩4分/市営バス8・26・58・101・105・106系統「紅葉坂」から徒歩7分
- 送迎車サービス**
お身体の不自由な方、高齢者に配慮した無料送迎サービスです。桜木町駅東口タクシー降車場着付付近★に送迎車が停車します。運行スケジュールや定員等は当館ホームページをご覧ください。
- 駐車場**
有料、予約制【予約専用tel.045-315-4440】1週間前から受付